



下大和田谷津田だより



2004年7月号

第53回「下大和田谷津田の 観察会とゴミ拾い」報告

6月6日 雨

雨の中の観察会となり、記録をとることはしないで谷津の自然を感じながら例月のコースを歩きました。県とNPOが共働している姿をビデオに撮るとのことでNHKの取材も行われました。田んぼの畦はニホンアカガエルの子ガエルがびよんびよん一杯。これが絶滅危惧種？と言うほどたくさんいました。その子ガエルを狙っているのか水際にヒバカリも見られました。観察資料に載せたオトシブミの仲間を見たかっただけですが、ゆりかごは見られたが虫そのものは出会えませんでした。田んぼの水のプランクトンを400倍の顕微鏡で観察しました。ワムシ、ゾウリムシ、の仲間、ケンミジンコなどミジンコの仲間、などなど。単細胞の微小な世界に歓声をあげました。

開花植物：ハルジオン、ヒメジョオン、ハハコグサ、セイヨウタンポポ、オオジシバリ、オニタビラコ、ノゲシ、オニノゲシ、オオイヌノフグリ、カキドオシ、シロツメクサ、コメツブツメクサ、カタバミ、イヌガラシ、クサノオウ、ナガミヒナゲシ、ケキツネノボタン、タガラシ、ミミナグサ、オランダミミナグサ、ノミノフスマ、キショウブ、ナルコユリ、ハウチャクソウ、ショウブ、カササゲ、イヌムギ、スズメノカタビラ、ヒエガエリ、スズメノテッポウ、チガヤ。

昆虫：キアゲハ、ヒカゲチョウ、ヤマトシジミ、クワゴマダラヒトリ（幼虫）、トホシオサゾウムシ、キシヤチホコ、ホソバナミシャク、モモノゴマダラノメイガ、ヒガシカワトンボ、

鳥：カルガモ、コジュケイ、ヒヨドリ、ウグイス、オオヨシキリ、メジロ、シジュウカラ、ハシブトガラス。

他：ドジョウ、メダカ、ギンブナ、アメリカザリガニ、マルタニシ、カワナナ、サカマキガイ、ヒダリマキマイマイ、シュレーゲルアオガエル、ニホンアカガエル、ニホンアマガエル、コガネグモ、イオウイロハシリグモ、ササグモ

(参加者：大人14人 子ども4人 報告：網代春男)

第37回谷津田プレーランド・プロジェクト(YPP)

古代米の田植え

6月19日 晴れ

まずいつもの古代米田んぼにみんなで緑米を植えました。去年は紫米も一角に植えたのですが、今年は緑米一色です。頭の真上から照りつける強い日差しにラクな作業ではありませんが、いつものようにニコニコ、わいわい、昼前には全部植え終えることができました。みんなの力ですごくいいですね。緑米はモチ米。今から年末の餅つき大会が楽しみです。午後は草取り。畦、水路、コシヒカリの田んぼの中、そして4月の終わりにきれいに草を取った今まで放置してきた田んぼも草ぼうぼうでしたが、みんなの力でどんどんきれいになっていきました。草刈りをしていると陸に上がって間もないちびガエルたちにたくさん飛び出してきました。放置田には赤米、黒米、紫米を植えました。田んぼの一部を引き受けてくれる大学生グループや家族も現れて頼もしい限り。今年の米の植え付け面積は全部で1反を超えて(1反1畝)今までで最大です。秋の実りが楽しみです。

午後は子どもたちを中心にカエルジャンプ大会や恒例となった漫画家つやまさんのスケッチ大会もやりました。つかまえてきたカブトムシや畦で見つけた小さな花の絵を一生懸命書いている姿、カエルに負けまいとジャンプする真剣な顔、微笑ましいですね。

今年のちば環境情報センターのワークショップで提案のあった生きものの池づくりにも着手しました。苗代を作った小さな田んぼを掘り下げて、深い水に暮らす生きものたちのすみかを作ろうというもの。ハス田にできたらいいね、というのが目標です。今回は試しに田んぼの一角を掘りました。すぐには水が貯まりませんでしたが、1週間後に様子を見に行ったらちゃんと池になっていました。

合計4枚の田んぼに稲が植えられ、畦の草がきれいに刈り取られた谷津田の景色はとても気持ちがいいです。傾いた日差しにさわやかな風、遠くからホトトギスの鳴き声が聞こえてきました。

(参加者：大人23人・小学生9人・乳幼児9人、報告：高山邦明)

下大和田季節のたより

6月19日 /ツトボ/の姿が田んぼの周りで見られる。(高山)

6月27日 斜面林の縁にカササゲが咲きそろい、田んぼの畦ではツクシが開き始める。羽化したてのツクシが田んぼから弱々しく飛び立っていった。(高山)

今年の梅雨は随分と暑い日が多いですね。後半はどうなるのでしょうか？田んぼでは稲も雑草もぐんぐん成長しています。ちびアカガエルやシュレーゲルアオガエル、ナツアカネやノシメトンボ、田んぼから新しい命がどんどん旅立っていきます。

高山邦明